

きんもくせい

特集

新たな医療機能が加わりました ～地元で新たに治療できる安心を～

当院ではこれまでに手術ロボット「ダ・ヴィンチ」や不整脈治療における新技術の採用など、医療機能の充実を図ってまいりましたが、今年度から新たに治療可能になった機能をご紹介します。

ご紹介する診療科は「整形外科」、「眼科」、「皮膚科」です。



▲整形外科・石井先生



▲皮膚科・大塚先生



▲眼科・宇佐美先生

手外科センターを開設しました

整形外科診療部長 兼 手外科センター長 石井 久雄 医師



手外科って何？

聞きなじみのない診療科かと思いますが、手外科とはその名のとおり『手』の怪我や病気を治療する科です。怪我や病気で失われる手の機能を最小限にするため、整形外科もしくは形成外科の中から専門のトレーニングを受けた医師が専属のリハビリテーションスタッフとともに診療を行います。

手は重要な器官

つかむ、おさえる、つまむなどの基本的な動作に加え、人間は二足歩行によって両手が自由に使えるようになったため、手のはたらきが格段に進歩しました。日常での道具の使用に加え、細かい作業を行ったり、楽器の演奏やスポーツに至るまで、さまざまな場面で手は重要な役割を担っています。また、手は人間の五感の一つである『触覚』をつかさどる器官としても欠かすこと

ができません。私たちは日々、手から伝わるさまざまな感覚からたくさん情報を得ています。手にある神経の数（密度は体の中で最も多く、そのため点字のような複雑な情報を読み取ることも可能です。さらに手はコミュニケーションの道具としても使われます。手を振ったり握手をしたり、ジェスチャーを用いたり、私たちは手を使って感情を表現したり感じ取ったりしています。

あなごれない手の怪我

手の怪我や病気が命の危険に直結することはほとんどありませんが、手の動きや感覚が悪くなると日常生活動作が不自由になったり、手の痛みやしびれで強いストレスを感じたり、手の見た目が悪くなることで自信を失ったり人前に出るのが嫌になってしまったりすることもあります。手は狭い範

囲に骨、関節、筋肉、腱、靭帯、血管、神経などがひしめきあっているため、見た目には小さな傷のようでも怪我の程度が重く、適切に治療を行わないと思わぬ障害が残ってしまうことがあります。

よくある手の病気

生まれつきのものから加齢による変化までさまざまなものがありますが、指にひっかかりや痛みが出るばね指、手のひらに痛みやしびれが出る手根管症候群、指の第1関節が変形するヘバーデン結節などが頻度の高い手の病気です。手の症状は女性ホルモンの変動が原因で起きることもあるため、妊娠・授乳中の女性や40代以降の女性によく見られます。

手の怪我や病気は、残念ながらすぐそばでの症状が元通りになるわけでは

ありませんが、まずは正しい診断と治療を受けることが肝心です。手の痛みやしびれが続いたり、ちょっとした切り傷やつき指の治りがいつもより悪いと感じた場合などには、早めにお近くの整形外科に受診しましょう。



▲石井医師(左から2番目)とリハビリテーション室のスタッフ

網膜硝子体手術はじめました

眼科医長（診療科長）

宇佐美 貴寛 医師



網膜硝子体手術について

網膜・硝子体の病気と聞いても目のどこの病気なのか分からないという人がほとんどだと思います。網膜は眼球の一番奥にある光を受け取る細胞の集まりで、カメラに例えるならフィルムに相当する部分です。硝子体は網膜の前の空間に詰まっている、透明なゼリー状の組織です。網膜が剥がれてしまったり、網膜に余計な組織が張り付いてしまったりすると視力が落ちますし、何らかの原因で硝子体に出血が絡んだり、炎症の濁りが生じても視力は低下します。目薬などで改善できる病気もありますが、手術を要する病気が多いことも特徴です。

これまで当院では網膜硝子体手術の設備が無く、手術適応の患者さまは他院に紹介させていただいていました。この度、網膜硝子体手術に対応できるよう診療体制を整えましたので、今後

は当院で手術加療を行います。

従来の手術と今の手術の違い

従来の硝子体手術は20Gの切開が必要で創の大きさは約1mmでしたが、現在の硝子体手術は25G（約0.5mm）または27G（0.4mm）の極小切開硝子体手術がメインになっています。創口の縮小に伴い、眼球にかかる負担の軽減や手術時間の短縮が可能になりました。もちろん白内障手術と比べれば視力回復は遅れますが、早い段階で社会生活への復帰ができます。

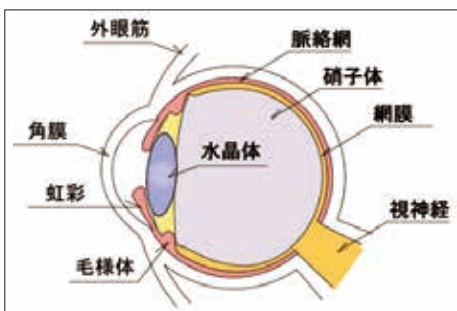
気をつけた方が良い症状

網膜硝子体疾患は徐々に進行するものもありますが、急に発症する病気も多くあります。加齢性の変化で多くの方が飛蚊症（虫のような黒い点が飛んで見える症状）を経験しますが、稀に飛蚊症は網膜剥離の前駆症状の場合

合がありますので、初めて出た場合や急にひどくなった場合は眼科受診をお勧めします。網膜の病気では視力低下の他に真つ直ぐの線が歪んで見えるような症状が出ることもありますので、その場合も眼科受診をお勧めします。重症化する前に治療した方が回復もよいので、異常を感じたら放置せず眼科医にご相談ください。

地域の皆さまへお願い

網膜硝子体手術は内因性の病気に對して行うことがほとんどですが、重度の眼外傷に対しても行います。手術を要する外傷の原因で多いのが、動力草刈機による外傷です。保護ゴー



▲眼の構造



▲硝子体手術のようす

グルを着けていれば大抵防げますが、手術が必要な怪我をした患者さまは保護ゴーグルを着けていなかった方がほとんどです。重度の外傷では必ず後遺症が残りますし、失明することも珍しくありません。怪我をしてからでは遅いので、保護ゴーグルの着用が推奨される作業では必ず着用くださるよう、この場を借りてお願い申し上げます。

（注）：針の太さ

皮膚がんについて

皮膚科診療科長

大塚 正樹

医師



皮膚がんとは

皮膚は表皮、真皮、皮膚付属器に分けることができます。それらを構成する細胞から生じるがんのすべてを皮膚がんと呼びますので、皮膚がんにはたくさんの種類があります。

ここでは代表的な皮膚がんである、
1. 基底細胞癌、2. 有棘細胞癌、
3. 悪性黒色腫、4. 乳房外パジェットト病について説明いたします。

1. 基底細胞癌

最も多い皮

膚がんで、高齢者の顔面に好発します。

日本人では黒色調を呈するものがほとんどです。はつき



▲基底細胞癌(鼻部)

2. 有棘細胞癌

りした原因は不明ですが、紫外線、外傷、放射線が関与することがあります。組織を破壊する力が強い場合があるものの、転移することは稀で、切除できればほぼ完治します。

表皮を構成する角化細胞が悪性化して生じる皮膚がんで、この皮膚でも発生しますが、特に頭皮、顔面に好発します。これら部位に治りにくいびらん・潰瘍、易出血性の紅色腫瘍、硬い腫瘍が出現したらこの病気を疑います。紫外線、慢性炎症、ウイルス、放射線が関与することがあります。進行するとリンパ節や内臓に転移しますが、紫外線の刺激で生じる日光角化症は早期がんであり、塗り薬で治ることもあります。主な治療法は手術ですが、がんの進行程度によっては、薬物療法

や放射線治療を組み合わせた治療が行われることもあります。



▲有棘細胞癌(頬部)

3. 悪性黒色腫

表皮の中にある色素細胞(メラノサイト)が悪性化したもので、いわゆる「ほくろのがん」です。しかしながら、メラノサイトは皮膚以外で眼や粘膜にも存在するため、眼、鼻腔、口腔、消化管にも発生します。多くは不規則な形状の黒いしみや腫瘍で、日本人では手掌、足底、爪周囲に好発します。主な治療法は手術で、初期のものは切除のみで

治りますが、リンパ節に転移した場合は術後に再発防止のための薬物療法が行われることもあります。内臓に転移がある場合には主に薬物療法が選択されます。進行例に対して近年、免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬など有効な治療法が開発されました。

4. 乳房外パジェット病

外陰部に好発する皮膚がんで、それらの部位に存在する汗の管から発生



▲悪性黒色腫(足底)

するとされています。湿疹やたむしに似ていることから、誤った治療がなされていることもあります。進行すると病変内に紅色腫瘍を生じ、リンパ節や内臓に転移します。主な治療法は手術ですが、リンパ節転移が広範囲に及んだり、内臓に転移がある場合には主に薬物療法が選択されます。



▲乳房外パジェット病(外陰部)

おわりに

皮膚がんは目に見える部位に発生するため、早期発見が可能です。早い段階での適切な診断・治療により、ほとんどの皮膚がんは完治可能です。気になる病変ができた場合は早期の皮膚科受診をお勧めします。

当院を受診するためには

当院を受診される場合は原則、他の医療機関からの紹介状が必要です。

これは、国（厚生労働省）が進める「初期治療は医院・診療所で、高度・専門医療は病院で行う」という医療機関の機能分担を推進するための措置によるものです。

今回ご紹介した整形外科を受診するためには、紹介状が必要です。

皮膚科と眼科は紹介状がなくても受診はできますが、まずはお電話でお問い合わせください。また、別途特定初診料5,500円（税込）をご負担いただきますのでご了承ください。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

看護部通信

とうつう 「がん性疼痛看護認定看護師としての役割」

近年生涯でがんに罹患する確率は2人に1人とされています。当院には様々な分野の認定看護師の資格を持ったスタッフが働いています。今回はその中でも「がん性疼痛看護認定看護師」について紹介します。

がん患者さまのうち約7割の方が痛みを体験していると言われています。痛みがあることで、夜眠ることができない、食事がとれない、やりたいことができない等、様々な日常生活に影響を及ぼします。その中で、がん性疼痛看護認定看護師の役割は、がんによる痛みがある患者さまの身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな状態を総合的に判断し、痛みに対して使用されている薬の効果や副作用への対策を行うこと

で、患者さま一人一人にあった痛みの治療ときめ細かいケアを実施することです。そして、他の職種とも協力しながら患者さまやご家族をサポートしていきます。

私はがん性疼痛認定看護師として、病気(がん)を持ちながらも自分らしい生活が送れるために、患者さまやご家族の思いに寄り添った看護を行っていきたいと思います。痛みやつらい症状が和らぐことで生活の質を維持・向上できるようにサポートさせていただきます。痛みを我慢せず、ぜひ相談ください。



7階東病棟 がん性疼痛看護認定看護師 石橋 瞳

令和元年度決算・経営指標実績を報告します

1 令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の決算

(1) 収益的収入及び支出（税込）

（単位：千円）

科目	予算額	決算額	執行率(%)
病院事業収益	17,399,229	16,797,908	96.5
医業収益	16,046,578	15,419,770	96.1
医業外収益	1,352,650	1,352,750	100.0
特別利益	1	25,388	2,538,800.0
病院事業費用	17,486,376	17,169,098	98.2
医業費用	16,741,335	16,471,632	98.4
医業外費用	724,252	692,175	95.6
特別損失	15,789	5,291	33.5
予備費	5,000	0	0.0

※「収益的収入及び支出」とは、経営活動に伴って生じた収益（主に診療報酬）と費用（主に人件費、材料費、委託料などの経費、減価償却費）のことです。

※令和元年度純損益（税抜後の収支）は、394,327千円の損失です。

(2) 資本的収入及び支出（税込）

（単位：千円）

科目	予算額	決算額	執行率(%)
資本的収入	2,512,090	2,245,594	89.4
企業債	1,820,000	1,517,400	83.4
負担金	684,536	718,521	105.0
貸付資金返還金	1,614	3,774	233.8
補助金	5,940	5,899	99.3
資本的支出	3,133,210	2,900,610	92.6
建設改良費	2,206,678	2,012,428	91.2
企業債償還金	917,532	883,052	96.2
投資	9,000	5,130	57.0

※「資本的収入及び支出」とは、施設や設備の改良工事や医療機器等の整備など投資的な収入と支出で、将来の経営活動の基礎となるものです。収入は主に市負担金や企業債、支出は主に企業債の償還や医療機器購入費、看護学生への奨学金です。

(3) 企業団が借りているお金

（単位：千円）

借入内容	借入残高
企業債	16,969,691

（令和2年3月31日現在）



日帰り人間ドック検査料金改定お知らせ

人間ドック・健診センターでは、開設より8年間、より多くの皆さまに受診していただくため、日帰り人間ドック検査料金を据え置きしてまいりましたが、この度、検査料金の改定をさせていただくことになりました。皆さまの健康で豊かな生活のため、精度の高い健診と、より一層のサービス向上に努めてまいります。ご理解を賜りますようお願いいたします。

◆改定日 令和3年4月1日
◆改定前 34,000円(税別)



◆改定後 37,000円(税別)

※検査項目内容に変更はございません。※その他コース、オプション検査の料金変更はございません。

◆問合せ 人間ドック・健診センター 電話:0537-28-8028

東海アクシス看護専門学校 令和3年度入学生募集(一般入学試験)

募集人数 看護学科(修業年限3年) 30人程度

受験資格 1 高等学校を卒業した方、又は令和3年3月に高等学校を卒業見込みの方
2 文部科学大臣が前項1と同等以上の学力を有すると認定した方

出願期間 令和2年12月1日(火)~12月18日(金) 午後5時15分必着

出願方法 直接又は郵送(簡易書留)

試験日 令和3年1月8日(金)学科試験、適性検査
令和3年1月15日(金)面接試験
令和3年2月1日(月)面接追試験(該当者のみ)

試験会場 東海アクシス看護専門学校

合格発表 令和3年2月8日(月)

問合せ 東海アクシス看護専門学校
総務課入試担当

電話:0538-43-8111

FAX:0538-43-8122

〒437-0033 袋井市上田町267-30

[https:// axis-ns.jp/](https://axis-ns.jp/)

願書は東海アクシス看護専門学校窓口で配付しています。また、募集要項の詳細及び学校案内と募集要項の郵送受付、過去4年間分の試験問題集販売につきましては、学校ホームページをご確認ください。

● 医師異動のお知らせ ●

9月30日付 退職

呼吸器内科 後藤 希
消化器内科 小野 幸矢
臨床研修センター 久保 伸太郎

今までありがとうございました

10月1日付 採用

呼吸器内科 柴田 立雨
外科 中橋 剛一
外科 柴田 淳平
眼科 武内 宏樹

よろしく申し上げます

9月の
診療実績

1日あたりの患者数		
	入院	外来
	358人	1,156人
紹介率	85.6%	
逆紹介率	93.6%	
病床利用率	71.6%	
平均在院日数	9.0日	
手術件数	420件	
救命救急センター受診者数	1,177人	
救急搬送件数	431件	

病院だより「きんもくせい」は中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配付しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



■受付時間:午前7時45分～11時00分

■診察時間:午前8時30分

■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

エリア	診療科	診療室	月	火	水	木	金	お知らせ
A	整形外科	1	AM 交代制(初)	交代制(初)	交代制(初)	交代制(初)	交代制(初)	●紹介患者のみ
		2	AM 交代制(初)					●形成外科 第1・3・5金曜日 午後 樋口 第2・4金曜日 午後 高橋
		3	AM 小見川 賢輔		長田 直洋(再)	小笠原 蘭節(再)	横井 寛之(再)	●膝肩専門外来 第1・3・5木曜日 午後 小松
		4	AM 石井 久雄(再) 石井 久雄(紹)			石井 久雄(再) 小松 知也(再/紹)	形成外科(再/紹)	●リウマチ科外来 第2・4火曜日 午前 小杉山
		5	AM 菅入 祐一(再) 菅入 祐一(再/紹)	交代制(リウマチ)	清崎 哲哉(再) 浦崎 哲哉(再/紹)	後藤 真輝(呼吸器外科)	金子 健一(小児外科)	
	外科・ 消化器病 センター	6	AM 菅原 淳平		古坂 広樹			●消化器病センターは紹介患者のみ
		7	AM 京義 隆典 京義 隆典	京地 正彦	久世 真悟	京義 隆典 京義 隆典	河合 敬	●小児外科 第2・4金曜日 午後
		8	AM 川合 亮佑	久世 真悟	川合 亮佑	河合 敬	山崎 公雅	
		9	AM 山崎 公雅	久世 真悟	茂野 佐弓	中橋 剛一	久世 真悟	
B	外科・化学療法			久世 真悟	久世 真悟		久世 真悟	
	循環器内科	1	AM 城向 裕美子		大橋 崇吉	岩崎 友樹	大橋 崇吉	
		2	AM 森川 修司	紅林 伸丈		森川 修司	紅林 伸丈	
		3	AM 森川 修司 井上 直出	紅林 伸丈 ペースメーカー外来	城向 裕美子 鈴木 規廣	森川 修司 鶴見 尚樹	紅林 伸丈 岩崎 友樹	
		4	AM 井上 直出					
	脳神経外科	4	AM 市橋 毅一		松原 州佐久	市橋 毅一	松原 州佐久	●紹介患者のみ
		5	AM 島崎 武司	島崎 武司		北村 拓海		
		6	AM 島崎 武司					
	脳神経内科	1	AM 佐竹 勇紀					●紹介患者のみ
		7	AM 佐竹 勇紀	佐藤 清太郎	岩崎 友樹	新原 邦行	殿印 成徳	
		9	AM 若井 正一	赤塚 和寛	若井 正一	若井 正一	赤塚 和寛	
	内科	10	AM 山本 順之祐		山本 順之祐		山本 順之祐	
	血液・腫瘍内科	11	AM 岡本 修一		神谷 悦功 中島 麻梨絵		中島 麻梨絵	●再診予約患者のみ
C	総合内科	1	AM 伊藤 裕司(初)	西尾 博一郎(特診のみ) 伊藤 裕司(糖尿病)	伊藤 裕司(再)	大淵 誠之(再)	大淵 誠之(初)	●紹介患者のみ ●漢方外来 金曜日 午前 大淵
		2	AM 交代制(初)	交代制(初)	交代制(初)	牧 隆太郎(再) 牧 隆太郎(糖尿病)	牧 隆太郎(初)	
		6	AM 交代制			交代制(初)		
	呼吸器内科	3	AM 葛 伸一	飯島 淳司	横井 英人	小沢 直也(再)	三上 毅	●紹介患者のみ
		4	AM 長崎 公彦	小沢 直也(再)	三上 毅(再)	小林 弘典	飯島 淳司(再)	●禁煙外来は予約制
		6	AM 太田 智隆					
		9	AM 高梨 昌浩	赤堀 利行	柴田 立雨	赤堀 利行	嶋田 真人	
	腎臓内科	5	AM 高梨 昌浩	赤堀 利行	高梨 昌浩	赤堀 利行	嶋田 真人	●紹介患者のみ ●水曜日 高梨/峠田 隔週交代 ●腎移植外来 偶数月の第4木曜日 午後
		6	AM 樋垣 浩司		鈴木 浩二		樋垣 浩司	
	糖尿病・ 内分泌内科	7	AM 日吉 泰雄 山田 隆之	日吉 泰雄 山田 隆之	日吉 泰雄 山田 隆之	日吉 泰雄 山田 隆之	日吉 泰雄 山田 隆之	●紹介患者のみ
		8	AM 山田 隆之 山田 隆之		山田 隆之 山田 隆之	山田 隆之 山田 隆之	山田 隆之 山田 隆之	
D	消化器内科	1	AM 細野 功	細野 功			細野 功	●紹介患者のみ
		2	AM 交代制	高柳 正弘	交代制	田中 仁	高柳 正弘	
	麻酔科	4	AM 交代制	高柳 正弘	交代制	交代制	高柳 正弘	
		5	AM 山本 洋子	内山 智浩	秋永 泰嗣	山本 洋子	内山 智浩	
	緩和ケア外来	5	AM 内山 智浩					●完全予約制(院内紹介患者のみ)
	歯科 口腔外科	6	AM 横小路 桃子	横小路 桃子	横小路 桃子	横小路 桃子	横小路 桃子	●初診は紹介患者のみ
		7	AM 金子 順哉	金子 順哉	金子 順哉	金子 順哉	金子 順哉	●予約のない初診患者は交代制で診察
		8	AM 交代制	坂須 宏太	坂須 宏太	若山 博隆(初)	坂須 宏太(初)	●午後は完全予約制
		9	AM 交代制	坂須 宏太	坂須 宏太	若山 博隆	坂須 宏太	
		10	AM 交代制	坂須 宏太	坂須 宏太	若山 博隆	坂須 宏太	●横小路医師は完全予約制
E	産婦人科	1	AM 村上 裕介	小田本 教人	林 立弘	村上 裕介	川合 健太	●紹介患者のみ
		2	AM 村上 裕介	小田本 教人	林 立弘	村上 裕介	川合 健太	
		3	AM 林 立弘	小田本 教人	林 立弘	村上 裕介	川合 健太	
F	泌尿器科	1	AM 松本 力哉	三宅 秀明	松本 力哉	松本 力哉	松本 力哉	●紹介患者のみ
		2	AM 松本 力哉		松本 力哉	松本 力哉	松本 力哉	●月・水・金曜日 9時から
		3	AM 杉山 榛子	渡邊 俊輔	渡邊 俊輔	渡邊 俊輔	杉山 榛子	
	皮膚科	4	AM 鈴木 英斗	小倉 康雄	鈴木 英斗	小倉 康雄	鈴木 英斗	●第5診察室 月・水・木曜日 9時から
		5	AM 小倉 康雄	小倉 康雄	小倉 康雄	小倉 康雄	小倉 康雄	
		6	AM 鶴見 由季	大塚 正樹	戸倉 新樹	鶴見 由季	大塚 正樹	
G	小児科	1	AM 矢田 康一郎	岩泉 寛	矢田 康一郎	岩泉 寛	矢田 康一郎	●心臓外来 月曜日午後 岩泉 ●神経外来 第1・3金曜日 石垣 第2・4金曜日 平出
		2	AM 早野 聖	横渡 ちさと	横渡 泰輔	横渡 泰輔	早野 聖	●腎臓外来 第2火曜日 午後 都築 第2・4火曜日 午前 北形 第3火曜日 坂口 第1・3月曜日 小野 第4木曜日 佐野
		3	AM 横渡 泰輔				横渡 泰輔	●血液外来 第3木曜日 午後 ●アレルギー外来 火曜日・午前 早野 金曜日・午前 夏目 ●4ヶ月健診 毎週月曜日 ●10ヶ月健診 第1・3水曜日 ●予防接種 毎週火・木曜日・第2・4水曜日 ●乳児健診・予防接種の予約は水・木・金曜日 14時～16時 予約専用電話: 0537-28-8115
		5	AM アレルギー外来				アレルギー外来	
	小児科 (予防接種) (健診)	4	AM 早野 聖	横渡 ちさと	横渡 泰輔	早野 聖	早野 聖	
H	眼科	1	AM 宇佐美 貴寛(特診)	宇佐美 貴寛	八角 光紀	宇佐美 貴寛(特診)	宇佐美 貴寛	●午後は予約患者のみ
		2	AM 武内 宏規	武内 宏規	武内 宏規(特診)	八角 光紀	武内 宏規	●特殊は医師指定患者のみ
		3	AM 清藤 智己	八角 光紀(特診)	清藤 智己	清藤 智己	清藤 智己(特診)	
	耳鼻 いんこう科	1	AM 交代制	戸井 広明	交代制	近藤 玄樹	戸井 広明	●水・金曜日の受付は10時まで ●子供外来(小児科) 火・木曜日 15時～ ●エコー 火・木曜日 14時～ ●補聴器相談 水曜日13時～、金曜日13時30分～
		2	AM 交代制	戸井 広明	交代制	近藤 玄樹	戸井 広明	
	腫瘍放射線科	8	AM 一戸 建志(初)	一戸 建志(再)	一戸 建志(初)	一戸 建志(特診)	一戸 建志(特診)	
	血液浄化 センター	AM 峠田 真人	高梨 昌浩	腎臓内科交代制	鈴木 浩二	腎臓内科交代制	鈴木 浩二	

※(初):初診、(再):再診、(予):予約、(紹):紹介

※午後は予約のみ